

感動です「宇都隆史 最後の叫び」

2010/11/28 22:58

[松下政経塾と自民党を見直した](#)

自衛官は国家に宣誓をたて印鑑について制服を着る、政権にはではない！

一つ前のエントリーのコメント欄で、katachi さんが次のような書き込みをしてくれました。「どこぞのブログで自衛隊出身の議員が言っていますが、自衛官は国家に宣誓をたて印鑑をつけて制服を着るそうです。他の公務員はそのようなことはないそうです。又、国に従うのであって、政権政党に従うのではないと言っています。」

良い話だな～と思って検索していたら、なんと「ねずきちの ひとりごと」さんが、宇都隆史氏の選挙演説を[自民党政務調査会・田村重信氏のブログ「たむたむの自民党vs民主党」](#)が文字起こしてくれた、と引用して紹介していたのですね。拝見して素晴らしい、涙が止まらない感動を覚えました。当選してくれて良かったです。

まったくもって「正論そのもの」の選挙演説ではないですか。いままで聞いた選挙演説の中でも間違いなくトップクラスです。[松下政経塾と自民党を見直しました](#)。という訳で、私も遅まきながら拡散陣営に加わります。鹿児島県の出身で、元航空自衛隊一等空尉とのこと。こういう新人が[自民党](#)の一期生に加わったということは、[自民党](#)の価値を高めたと思います。



平成22年7月10日、於・西船橋駅前 [自由民主党](#)比例区候補 宇都隆史

「宇都隆史 最後の叫び」

皆さん、こんばんは。いよいよ、きょうが最後です。あと最後の30分、持てる力のすべてをこの西船橋駅の前で、皆さんのお一人お一人の心の中に、私のすべての熱を伝導いたします。あらためまして、[参議院](#)比例候補、元自衛官、[松下政経塾](#)出身の宇都隆史です。(拍手)

選挙戦が6月24日から始まって、今ちょうど17日目。この17日間の各候補者の声を、皆さんはどのように受け止められていますか。私は私なりに、自分以外の候補が、これは[自民党](#)の候補だけではないです、ほかの政党の候補も、いったいこの選挙戦を通じて国民に何を訴えようとしているのか。この事を、全国を巡って歩く時間の中でリサーチをしていました。

大抵の候補者が語っていることは、何ですか。消費税に関する事、あるいは、今回の菅政権の目玉である[社会保障](#)に関する事。この事ばかりを各候補者が声高に訴えて、自分に票を入れてくれ、こういうことをしている訳なのです。

先日、ある新聞の中で、有権者や国民にこういうアンケートを取っていました。「今、政治に最も期待することは何ですか」。30数%で1番の回答は、[社会保障](#)、福祉関係の話だったんです。年金、医療、介護、子育てにまつわる事です。そして、2番目の回答は、自分たちの消費にかかわる消費税の問題、これが2番目だったんです。

国民の今、関心が高いことはその二つだ。しかし、そうでしょうか。我々有権者は、誰を選ぼうとしているのか。今から少なくとも6年間、我々の祖国・日本国の舵取りをしようとしている人間たちを選ぶ選挙なんです。

有権者の関心の高い事、それが福祉や、あるいは消費税の事にあるのは、これは当然のことだと。普段の生活の自分たちの中で、自分にいったい、どういうメリット、デメリットがあるのか。それほどに有権者の皆さんの関心が高くなれば、当然じゃないですか。

しかし、国民の関心が一番高いことと、国会議員になろうとする人間が、国家の優先順位として今語らなければならないことは、一緒じゃないんですよ。

国会議員になろうとする人間が、50年後、あるいは100年後の我々の子や孫の時代を考えて、有権者の能力と見識を信じて真剣に向き合わないで、いったい誰が**未来**を語るんですか。

メディアは、**未来**は語らないんです。メディアは商売主義の中で我々が関心の高いことだけを、商売としていろいろなニュースソースを持ってきて話をするだけなんです。国会議員の仕事は決して、国会の中で法律をつくるだけが仕事じゃないんですよ。国会議員の一番しなければならない仕事は、自分の経験と、見識と、そして信念に基づいて、有権者、そして、国民に何を今考えなければならないのかを訴え、活動することが国会議員の一番の仕事なんです、そうじゃないですか。

今、有権者の中で、外交であるとか、あるいは国防であるとか、あるいは教育であるとか、こういうことを語る者が少ない。この事にまず、私は危機感を覚えているのです。社会福祉に手厚い国家、それも確かにいいでしょう。しかし、私は勉強は足りないかもしれないですけど、私が勉強してきた範疇の中で、社会福祉を強めた、社会福祉に力を注ぎ過ぎた国家で、国家の繁栄を誇った国を見たことがない。強過ぎる福祉は、必ず国を滅ぼすんです。

国会議員は、国民の「受け」だけを狙って、福祉だけを語ってはならない。社会福祉に手厚い国家を想像してみてください。自分に対して、どのようなメリットがあるかではなくて、子どもたちや孫たちの世代に、いったいどういう負の負担を残すのか、あるいはプラスを残すのか、そういう判断基準で国政選挙は選ばなきゃいけないのです。

生活保障もいいでしょう、弱者に対する救済もいいです、でも、この国には何万というぎりぎりのところで生活をし、これ以上生活保障をもらったり、あるいは公的な援助をもらうのは恥ずかしい、何とか自分の足で立ってやろう、そう思って頑張られている人間が何万といるんですよ。(拍手)

そういう人たちよりもですよ、手厚い**社会保障**を受けて、保護を受けて、勤労の意欲を失い、仕事をせず、毎日をゆつくりと暮らしていける人たちのほうがいい生活をしていったら、この国家から勤労の美德というものはどこに行ってしまうのですか。



日本人のすばらしさは、働くことに対して喜びを見出すという民族なんです。生涯現役などという言葉は日本にしかないんですよ。外国には、できるだけ若いうちにたくさん稼いで、年を取ったらゆつくりバカンスをしようと、こういう考えが普通なんです。

しかし、日本人は違うじゃないですか。体が動く限り働こう、働けているうちが幸せだと、我々はそういう民族なんです。そういう民族であれば、そういう民族の特性に応じた**社会保障**のやり方があるじゃないですか、そうでしょう。

親が、ぎりぎりのところで働いて子どもを育ててくれる。その親の姿を見て、背中を見て子は育つんです。だから、自分も大人になったときに、子どもを養い、家庭を持ち、時に不運な人生を歩む人もいるでしょう。会社がいきなり倒産するかもしれない、ある

いは、悪い人にだまされてしまうかもしれない。でも、それでもくじけないんですよ、親を見ているから。

あんなに物が無い時代、食べるものがない時代でも、お父さん、お母さんは、あんなに頑張って僕を育ててくれた、私を育ててくれた。

でも、じゃあ、家庭は貧しかったから幸せがなかったかと言われれば、そんなことはないんだ。そこに笑顔があって、団欒があった。私もそういう家庭を築きたい、そう思うから頑張るんじゃないですか。

年を取ったときもそうなんです。一から十まで国が保障をし出したら、子どもは親の面倒を見なきゃいけないと思わなくなるでしょう。若いころに、あれだけ苦労して自分たちを育ててくれた、そのお父さん、お母さんが、年金や社会保障の中でぎりぎりの生活をして暮らしている、それでも生きていけるんです。

でも、若いときにあれだけ苦労してくれたんだったら、年を取ったときぐらい、自分の力でもう少し豊かな生活をさせてあげたい。子どもはそう思うんですよ。だから、「ふるさとに帰ろうかな、お父ちゃん、お母ちゃんを呼び寄せようかな」、そうやって親の面倒を見るんじゃないですか。一から十まで国が面倒を見始めたら、そんな気持ちも湧かなくなる。

また、子どもと一緒に暮らせない人もいます。でも、そういう人はお年寄り同士で生計を立てるんじゃないですか。お互い、助け合ってください。

独居老人の中で、知らないうちに亡くなっていく方がいっぱいいます。でも、そうならないよう、お互いに連絡網とかをつくりながら、声をかけ合って頑張っていくんです。

そんな中でも、どうしても心が折れた人、はい上がれなくなった人、その力を、心の力を失った人に、最後に手を差し延べるのが国の公助なんです。

基本は自助なんです。自分の足で立って、歩いていくことが、国民にとっての一番幸せな生き方なんです。それができない時に、お互いに共助として助け合う、最後に駄目だった時に、国が温かい手を差し延べる「公助」。これが、我々日本人が心から望んでいる社会保障のあり方なんです。

しかし、国が差し延べるこの温かい手、これにいつまでも載せておくことが本当に、国が国民を愛していることなのか。私は時折、社会保障を声高に言う政治家は国民を本当に愛しているのだろうか、こういう疑問まで出てきます。(拍手)

だって、そうじゃないですか、温かい手のひらに愛している国民をいつまでも載せておく、そんなことしないでしょ。お子さんのことを考えてみてください。自分の子どもが心が折れた、あるいは大変な壁にぶつかったときには、「帰ってこい」と言いますよね。

でも1週間、あるいは1カ月したら何と言いますか。「おまえ、いつまで何やっているんだ、もう一回頑張ってこい」、背中を押すでしょう、お尻をたたくじゃないですか、それが親の愛じゃないですか。国の愛も必要なんですよ。いつまでも、温かいぬくぬくとした手のひらで抱いていくことが、本当の国民に対する愛情じゃないんです。

そこからはい上がれるように、働く場所を見つけてあげて、何とか努力する方策を見つけてあげる、そのための犠牲、支出は問わない、それが、国が国民に対する社会保障の一番の愛なんです。その事をもし、民主党政権が言うのであれば、私は協力する。自民党であっても最大限に協力します。でも、道が違うから、そんなことをしては国民を駄目にする。だから、私は反対するんです。



今、私たちが政治にいろいろなものを求めていますでしょう。でも、私は景気が回復したり、あるいは社会保障を充実しても、

我々今、この国に生きる日本人が、本当の意味での今の枯渇化、あるいは少産化、これをぬぐい去ることは政策なんかではできないと思っているんです。

なぜか、私たちが日本人としての生き方、あるいはこの魂の枯渇感を取り戻すには、どうやって命を使ったら、我々の今を生きる「生」が輝くかということを実際に考えなきゃいけないんです。

これまで、我々の日本の民族にとって、死は身近にあったんです。

戦後、あの大東亜戦争が終わったときに、世界各国から日本人は驚愕の目で見られた。なぜか。日本人はこの地球上で唯一、「死を恐れない民族」だと言われたんです。これは決して軍事中の軍事教育や、強制的な狂信的な考えを持って死を恐れなかったわけじゃないんです。昔は日本人にとって、この自然の中のサイクルを見ている民族にとって、命が尽きるというのは当たり前のことだったんですよ。今のように刹那主義じゃなかった。「命が終わってしまったらおしまい、生きていうちが花だよ」って、そんなんじゃないかったのですよ。

肉体なんていうものは、魂を入れておくための殻でしかないということを理解していたんです。だから、私たちは、魂を子どもたちに伝達して、縦の命のつながりをつなげていった民族だったんです。

私は、鹿児島島の生まれです。65年前に鹿児島知覧や鹿屋から、私よりも若い青年たちがこの国を思い、志を立てて南の空に散っていった。ある人たちは、「それは強制されて行ったんだ」、あるいは、「洗脳されて行ったんだ」、そういう事を言います。

でも、そういう事を言う人は、あの知覧の資料館の、あの若者たちのまなざしを見て本当に言えるか、私はそう思うんです。あれは、決して狂信者の目なんかじゃないですよ。強制をされて嫌々行った目じゃないんです。あの目を一言で言うとしたら、自分の命の使い方、生きるということはどういうことなのかを悟った眼差しなんです。

「この戦争の時代に、自分は生まれてしまった。自分の命は短いだろう、しかし、この時代に生を受けたことは仕方がない。だけれども、決してこの先祖から受け継いだ命を無駄に使うのだけはやめよう。何とかして、この命をうまく使って、子どもや孫たちに、この美しい祖国、日本人の魂を受け渡していこう」。

そうやって、この国の未来を願って止む無く死んでいったんです。だから、我々は、今この平和な世界の中で生きているんですよ。(拍手)

今我々が、自分たちのことだけを生きて、政治にサービスを求め始めていったいどうしますか。我々は、命を懸けてでもこの平和な国を残してくれた、65年前に、あの世界を帝国主義の名の下に席卷したアングロサクソン民族に、たった一国、果敢に立ち向かった亜種民族の末裔なんですよ。

我々は今、国に、政治に要求することは、自分に何をしてくれるかじゃないんです。我々が政治を通していったい子どもたちに何を残せるか、このことを真剣に考えていかなきゃいけないんです。(拍手)

我々がそれをやろうと思ったら、一つしかないんですよ。国防を考えなくてははいけません。私は自衛官だから、自衛隊出身者として国防の重要性を言っているんじゃないんです。自衛隊出身者だから、仲間たちの予算が欲しくて国防の重要性を訴えているんじゃないんです。国防ということを我々は考えたら、必然的に命よりも重いものがあるんだな、命を懸けてでも守らなきゃいけないものがあるんだな、このことに向き合うことができるんですよ。(拍手)

この国が全くとっておかしくなったのは、戦後のある瞬間から。国会議員がこんなことを言ってから我々日本国はおかしくなった。「日本人1人の命は地球より重い、命よりも重いものがない」。こんな馬鹿げたことを言い始めたんです。

そんな筈はないでしょう。もしそうだとしたら、なぜ、母親は自分の命のリスクを冒してまで子どもを産むんです。ねえ、妊娠、出産なんていうのは、非常にリスクの高い人間の営みですよ。我々は産まれながらにして命を受け、つなげるということは、自分の命を守ることよりも大事なことなんだということを、DNAの中に組み込まれて知っているんです。(拍手)



だからこそ、国防を真正面から捉えて、いかにしたら子どもたちを、我々の手で、この国を残していけるんだろうか、他国に委ねたってダメなんですよ。他国に自分たちの子どもを委ねるばかがどこにありますか。自分の子どもを守るのは自分でしょう、隣のご両親に自分の子どもを守ってくれなんて言わないじゃないですか。

我々の使命の源は、我々の子どもたちなんです。その子どもたちを、唯一守っていけるのは、今この地球上の日本国の上に生きている日本人の我々だけなんですよ。(拍手)

我々が、65年前の祖先がしてくれたのと同じように、今やらなければ国がなくなる、その分水嶺に差しかかっているのが今なんです。あと5年してください、あと10年して見てください。戦争の体験者はもういなくなるんですよ。その語り部なんかはいなくなるんです。(拍手)

我々に、真の命を見守って教えてくれた世代がいなくなったときに、私たちは本当に命の伝え方を教えていけるか、今こそやり直さなきゃいけないんですよ。

たった5年前に、こんなアンケートがあった。世界36カ国の国々に、あるリサーチ会社がたった一つの質問を行ったんです。それは若い成人男女1,000人に対するアンケートでした。「あなたは戦争が起こったら、自分の国のために戦いますか」。男の人にも女の人にも質問したんです。我々が国際社会の中でしのぎを削っていかなければならないありとあらゆる国々が、最低でも50%以上の国民が、「そのときは命を懸けて子どもたちを守る」、「イエス」と答えたんです。(拍手)

5年前です、我が日本国の国民たちは、1,000人と侮ることなかれですよ。いったい、36カ国中何位で、何%の国民がイエスと答えられたか。36カ国中、36位。最下位だったんです。15.6%の国民しか、「この国を命に代えてでも子どもたちに託そう」、そう答えられなかった国の櫻が、つながるわけがないじゃないですか。(拍手)

我々は今、やり直しましょう、

今やらなければ、もう取り戻せない、私は訴え続けます。国民の皆さんに訴え続けます。そして、国会議員になろうとする人間が、あるいはバッジをつけた人間が、一度、「国民の皆さんに」という言葉を発したら、今この世の中に生きている有権者のことだけじゃないんです。もうお亡くなりになった日本の国民、今を生きる国民、そして、これから生まれてくるであろう日本国民のことを考えた政治をやるべきなんです。(拍手)

私は元・自衛官として、宇都隆史、自衛官として、集参の前にサービスの宣誓に調印をさせていただきました。サービスの宣誓という誓いの言葉の中に印鑑を押さなければ、自衛官は制服を着ることができません。ほかの国家公務員には決してない一文が、そこには入っている。「事においては、身の危険を顧みず、身をもって責務に邁進し、もって国民の負託に応えるものとする」。

一言で言えば、これは国家に忠誠を誓うという約束をしたということなんです。(拍手)。自衛官は決して、政権に対して誓約をしているわけじゃないんです。

今、自衛官が**民主党**の中で四苦八苦している。非常に苦労している。でも、今の現職自衛官が腐らずにやっつけていけるのは、我々が**民主党**に誓約をしたわけじゃない、この国家に命を懸けた社稷(しゃしょく)の臣なんだ、そういう矜持があるからやっつけていけるんです。(拍手)

私はこの現場の声、現場の努力を決して忘れない。現職の自衛官、あるいは自衛官じゃなくても、この国を心から愛し、この国の子どもたちに自分の命を使ってでもつなげたいと思っている国民がまだ大勢いるんです。(拍手)

その一人一人が、力をつけて心をつないでいけば、必ず日本は良くなります。

政治に、あるいは、一政治家に期待をするのはもうやめましょう。(拍手)

政治は、期待をするものじゃないです。

政治は、自分たちでつくり上げて、政治家を育み、自分たちの声を代弁させるものなんです。(拍手)

いよいよ明日です。6年間、仕事をしてもらえる国会議員を皆さん一人一人の手で選びます。政治の中で最大の今クライマックス、選挙という民主主義において、最大の今瞬間を我々は迎えているわけなんです。

そのときに、最後に一つ、皆さんにお願いと、これだけはよく理解して投票をしてくださいということを申し上げます。選挙の主役は政党でも、候補者でもないんです。選挙の主役はこの国家の主権者である皆さんなんです。(拍手)

皆さん一人一人がこの国のことを真剣に考えて、明日、最大の民主主義のクライマックスである参議院選挙、この一日を過ごしてください。あした、夕方から、8時からの投開票で、皆さんとともに、所思、心から、我が国の新たな一歩を踏み出そうと、祝杯を挙げられることを心から願っています。(拍手)

最後であります、元自衛官です。自衛官の中で10年間揉まれながら、一つだけ、よくよく理解できたことがありました。それは、この世の中で国家を守る最大の武器は何か、このことを私は現場に身を置きながら学ぶことができた。それは核兵器なんかじゃない。国家において最大の護身刀は、我々国民の国を守ろうという一人一人の気持ちの集大成です、ぜひ、皆さんでこの国を守っていきましょう、ありがとうございました。

ありがとうございました。ありがとうございました。宇都隆史、必ずやります、よろしくお願いします。(拍手)



カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(36)

タグ: 宇都隆史 最後の叫び 参議院選挙 自民党 松下政経塾 自衛官は国家に宣誓

コメント(36)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **matacyann** さん

2010/11/28 23:17

日本にもまだ望みがありますね。
感激です。



Commented by **katachi** さん

2010/11/29 01:56

今まさに北東アジアの歴史が展開しようとしている最中に我々は、居る。
こうして歴史が動く様を多角的に肌で触れる事が出来るのは、一生でそう無いと思いません。
恐らく落ち着く先の的はある程度設定されていると思いますが、日本だけがそのインテリジェンスが欠落しているように見えます。
支那は当然計画的に行動していると思います。
「こうあらねばならぬ」と言った計画図があり其れを目指して行動している事が一連の動きを見ていて解る。
故にそれに対応できる政権を樹立しない限り翻弄されるままに滅亡して行く危機に日本は立っている。
この時期に来てかなりの日本人がGHQ的の日本が払拭・覚醒できたように見えます。
ある程度の動乱期が起きなければテンションが起きないのかも知れません。
それでも日本国民の察知は早いし団結力は素晴らしい。
この状況が整えば、動きは相当な速さとうねりが起ると信じます。

Commented by **ef5861ja** さん

2010/11/29 08:21

花うさぎさま



昨日の沖縄県知事選挙で、反米、反自衛隊思想に凝り固まり、[中国](#)へ沖縄を売り渡しそうな勢いだった伊波氏が落選し、仲井真氏が再選されました。

沖縄県民の賢明な判断に敬意を表します。ご存じのように沖縄のマスゴミは露骨に伊波氏支援を行っていたようです。その中で、仲井真氏が再選されたことは大きいですね。



Commented by [花うさぎさん](#)

2010/11/29 08:31

To matacyannさん おはようございます。

>日本にもまだ望みがありますね。

>感激です。

はい。本当に感激、というかここまで短時間の演説で主張したいエッセンスを織り込む能力に感嘆しました。

やはり鍛えられた自衛隊出身者は違いますね。



Commented by [花うさぎさん](#)

2010/11/29 08:35

To katachiさん おはようございます。

書き込みありがとうございました(--)

>こうして歴史が動く様を多角的に肌で触れる事が出来るのは、一生でそう無いと思います。

同感です。

>「こうあらねばならぬ」と言った計画図があり其れを目指して行動している事が一連の動きを見ていて解る。

この辺は用意周到です。

>それでも日本国民の察知は早いし団結力は素晴らしい。

>この状況が整えば、動きは相当な速さとうねりが起ると信じます。

私もそう思いたいです。支那の尖閣侵略、その後の問答無用の圧力、現在の北朝鮮の動き、これを見て日本の国防安全保障を懸念しない人はそう多くはないと思います。



Commented by [花うさぎさん](#)

2010/11/29 08:39

To ef5861jaさん おはようございます。

>沖縄県民の賢明な判断に敬意を表します。

本当に感謝したいですね。極左の二紙による必死のキャンペーンも県民には通じなかったようです。

>その中で、仲井真氏が再選されたことは大きいですね。

大きいですね。少なくとも沖縄の独立論、支那の自治区入り、という判断は拒否されたと見るべきでしょう。



Commented by [abusan123さん](#)

2010/11/29 08:55

To ef5861jaさん

>沖縄県民の賢明な判断に敬意を表します。ご存じのように沖縄のマスゴミは露骨に伊波氏支援を行っていたようです。その中で、仲井真氏が再選されたことは大きいですね。

拙ブログもエントリーしたのですが、沖縄マスゴミの

背景を忘れてました(^◇^;)

<http://abusan1.blog101.fc2.com/blog-entry-522.html>

尤も伊波候補の敗因は反米、基地撤廃に固執した事ですね。それが「逆風」の前に敗れたと。仲井真知事の作戦勝ちとも言えるでしょう。

2010/11/29 09:13

投票率が50%を切った点にも注目ですね。



Commented by **yohkan** さん

2010/11/29 11:04

昨日に続いて、今日も花うさぎさんのブログに感動して、うるうるしてしまいました。(ちょっと涙もろくなってるみたいです)

宇都隆史さんて、なんと高い志を持っておられるのでしょうか。そして自衛隊の皆さんさんも。崇高な軍人精神に感謝すると共に、日本人として誇りに思います。



Commented by **花うさぎ** さん

To abusanさん

>拙ブログもエントリーしたのですが、沖縄マスゴミの
>背景を忘れてました(^◇^;))

何か、沖縄の県民感情は80-90%が「反米」といっていたような気がするのですが、どうもそうではないようだ、と言うことが証明された結果ではないでしょうか。



Commented by **花うさぎ** さん

To yohkanさん こんにちは。

2010/11/29 11:07

>宇都隆史さんて、なんと高い志を持っておられるのでしょうか。そして自衛隊の皆さんさんも。崇高な軍人精神に感謝すると共に、日本人として誇りに思います。

はい。30分のスピーチでここまで感動を与えられる演説というのは本当に「希」だと思います。

堂々と自助努力を訴えて見事当選したのですから、彼に投票した日本国民に拍手喝采です(^ ^)。



Commented by **iza1824** さん

花うさぎさん おはようございます。

2010/11/29 11:08

週末身延山久遠寺に御参りに行ってきました。往復約500キロの遠征でしたが天気も良かったし、親父にも会えた気分で清々しい気持ちになれました。何処のお寺も同じですが階段が多くそして長く大変でした。健常人なら10分位が休み休みですから3-4倍は掛ってしまいます。(タバコに気をつけて下さい)

宇都隆史議員、知りませんでした。存在を教えて戴き有難う御座いました。全部で約30分全部見た印象ですが、素晴らしい若手議員ですね？[松下幸之助](#)さんも今や嘆き悲しんでいるに違いないその他大勢の[松下政経塾卒業”劣等生”](#)の中にもこの様な例外者が居たのですかね？期待の自民新人です。



Commented by **花うさぎ** さん

To [iza1824](#)さん こんにちは。

2010/11/29 11:15

>親父にも会えた気分で清々しい気持ちになれました。

それはご苦労様でした。500キロってまだまだお若いですね。私はとてとても(^ ^;)。

>健常人なら10分位が休み休みですから3-4倍は掛ってしまいます。(タバコに気をつけて下さい)

うう～、耳が痛いです。

>他大勢の[松下政経塾卒業”劣等生”](#)の中にもこの様な例外者が居たのですかね？期待の自民新人です。

本当ですね。こういう新人がどんどん増えれば日本は間違いなく良くなりますね。嬉しい話題でした(^^)。

2010/11/29 14:05



Commented by **keroyon** さん

花うさぎさん、こんにちは。

2010/11/29 14:29

僭越なコメントですが、私はこの宇都さんのこと今年始めから注目していて、[参議院](#)選挙、絶対当選して欲しい、と置いていたうちの一人でした。何故かというそれは私の好きなヒゲの佐藤隊長がその頃からずっと支援していたこと、そしてチャンネル桜に出演した動画を見たことなどで好感を持ったからなんです。山梨で惜しくも落選した宮川さんも[松下政経塾](#)の同期なんですよ。自民の[高市早苗](#)議員も政経塾出身だし、政経塾もよくわからないですね。ただ、「政経塾出身」がブランド化してきているので、それを利用しようとする卒業生もいるでしょうから、結局は本人の資質をきちんと見極めないといけない、ということに尽きるでしょう。

で、蛇足かもしれませんが、今年の参議院選挙で当選した[自民党](#)新人議員のうち、この宇都さんと、そして同じ政経塾同期出身の熊谷さん、あと上野さん、岩井さん？だったか、4人が稲田朋美さん会長の「伝統と創造の会」に入会したそうです、って稲田さんがチャンネル桜で言っていました。宇都さん、稲田グループで切磋琢磨していければ、頼もしいですね。



Commented by **花うさぎ** さん

To keroyonさん こんにちは。

>私はこの宇都さんのこと今年始めから注目していて、[参議院](#)選挙、絶対当選して欲しい、と置いていたうちの一人でした。

凄い！私は救国ネットの動向が心配でそれどころではありませんでした。

>結局は本人の資質をきちんと見極めないといけない、ということに尽きるでしょう。

はい。同じ塾出身者にもいろいろいるという事ですね。

>4人が稲田朋美さん会長の「伝統と創造の会」に入会したそうです、って稲田さんがチャンネル桜で言っていました。

これは良い情報をありがとうございます。この演説を聞いたら、既に部分的には稲田氏を上回っていると感じさせますが、彼女には自らも研鑽しながら新人の教育にも尽力して欲しいですね。

正直、この演説にはこれまでの保守論壇のそれを超える「核心」に迫ったものがちりばめられています。彼の今後の活躍に大いに期待したいと思います。



Commented by **しばりょう** さん

素晴らしい演説ありがとうございます。

2010/11/29 15:28

私達が 日頃思っている、疑問 不満を見事に 代弁されています。

小泉くんには、もって生まれた オーラがありますが、この辺の

保守思想をしっかり勉強してほしいですね。

良い手本 先生が [自民党](#)には、いっぱい居ます。

売国無能内閣より、政権奪還を早く、願っています。



Commented by **裏の桜** さん

こんにちは。

2010/11/29 16:30

下らない内容のブログですが、トラックバックさせていただきます。

自衛官の任に就く時に宣誓し署名捺印する宣誓文はこの様なものであるということで・・・失礼

しました。

2010/11/29 17:27



Commented by **花うさぎさん**
To **しばりょうさん** こんにちは。

>私達が 日頃思っている、疑問 不満を見事に 代弁されています。

本当ですね。衝撃を受けました。

>小泉くんには、もって生まれた オーラがありますが、この辺の
>保守思想をしっかり勉強してほしいですね。

大賛成です(^^)。

>売国無能内閣より、政権奪還を早く、願っています。

一気呵成に！と欲しているのですが。



Commented by **花うさぎさん**
To **裏の桜さん** こんにちは。

2010/11/29 17:33

>自衛官の任に就く時に宣誓し署名捺印する宣誓文はこの様なものであるということで・・・失礼しました。

拝見しました。

なるほど、勉強になりました、ありがとうございます。



Commented by **素浪人さん**
日本の為……多くの保守・護国派の人が口にする言葉である。

2010/11/29 17:36

しかし、小生にとっての日本は、**天皇**・皇室であり、それを戴く臣民が住む国である。その下で、自分の故郷があり、親があり、親戚朋友がある。それが、小生の国家観である。従って、単に『日本の為』と言っても、どうも心情的に合致しない。この点、小生は、他の護国人士と感覚が異なるかも知れない。

天皇のおわさぬ日本は日本に非ず。

だが、観察してみれば、この国は、とうに天子・国主を無くした支那・朝鮮と同じ様な国になりつつあるではないか。戦後の、特に現代の日本人は、天皇が日本であると言う認識が余りに欠如している。戦争中の日本兵は、建前の場合もあっただろうが、多くの人が、『天皇陛下万歳』と唱えて亡くなった。日本人の場合、愛郷心や、肉親への愛だけで、心底勇気を奮って敵に向かえようか？小生なら、絶対に無理である。



Commented by **すずめめだかさん**
宇都議員とはまだ選挙前の今年2月に有るイベントに手伝いをされている姿をお見かけしこちらから声を掛けたことから知人を集めてミニ集会をいたしました。

2010/11/29 18:04

その時の話ぶりでは凛々しさと優しさが同居する方で選挙最終日の街頭演説の強さとは違っていました。

今後ヒゲの佐藤議員と共に活躍されるのを楽しみにしています。



Commented by **花うさぎさん**
To **素浪人さん** こんにちは。

2010/11/29 19:16

>しかし、小生にとっての日本は、**天皇**・皇室であり、それを戴く臣民が住む国である。その下で、自分の故郷があり、親があり、親戚朋友がある。

日本が日本たりえる理由ですね。最近は、一般の方も平気で日の丸を掲げてデモ行進し、君が代を斉唱し、聖寿万歳を体験するようになりました。

素浪人さんの云わんとすることは、かなり理解が深まっていると感じますよ。

>戦争中の日本兵は、建前の場合もあっただろうが、多くの人が、『天皇陛下万歳』と唱えて亡くなった。

2010/11/29 19:18

はい。天皇陛下と日本がイコールだったのです。

>日本人の場合、愛郷心や、肉親への愛だけで、心底勇気を奮って敵に向かえようか？
小生なら、絶対に無理である。

お気持ちは本当によく分かります。



Commented by **花うさぎさん**
To すずめめだかさん こんばんは。

2010/11/29 19:23

>知人を集めてミニ集会をいたしました。

そうだったのですか？

>その時の話ぶりでは凛々しさと優しさが同居する方で選挙最終日の街頭演説の強さとは違っていました。

なるほど。テンションの違いということもあるのかも知れませんね。

>今後ヒゲの佐藤議員と共に活躍されるのを楽しみにしています。

はい。大きく成長して欲しい人材ですね。



Commented by **小野まささん**
こんな政治家もいたのかという感想です。不明にして知らなかった。
特に「日本人のすばらしさは、働くことに対して喜びを見出すという民族なんです」という処が共感できますね。



Commented by **花うさぎさん**
To 小野まささん こんばんは。

2010/11/29 20:52

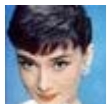
>こんな政治家もいたのかという感想です。不明にして知らなかった。

多くの方がそうだと思います。これからどんどん知らしめましょう。

>特に「日本人のすばらしさは、働くことに対して喜びを見出すという民族なんです」という処が共感できますね。

天皇陛下は稲を育てお米を収穫し、皇后陛下は繭を育て生糸を創ります。こういう皇室をいただく日本人ですから、「働くことに対して喜びを見出す」ことは当然ですね。

世界的には「希」ですが、この若者はよく分かっていますね。



Commented by **ジゼルさん**
本当に素晴らしい演説です。**自民党**にはまだまだこういう逸材が存在しますね。感動しました。泣けました。
こういう方こそ、国民みんなで応援していかなければなりません。

2010/11/29 22:12



Commented by **花うさぎさん**
To hisuiさん こんばんは。

2010/11/29 22:44

>本当に素晴らしい演説です。**自民党**にはまだまだこういう逸材が存在しますね。感動しました。泣けました。

実は私もエントリーをあげておきながら、動画の音声を再生しながらテキストを読む、というのを三回繰り返しました。どんどん感動と涙が高まってきます。

>こういう方こそ、国民みんなで応援していかなければなりません。

2010/11/29 23:24

はい。皆でこの人に「期待する」ことはやめて「育てる」事をすべきだと思います。全ての国会議員のこのテキストを読ませ、感想文を書かせたいですね。それを採点する。ほとんどの左翼、リベラル系は落第でしょうけど。



Commented by **しばりょう** さん

大塚前議員のあいさつも拒否 防衛次官通達で

2010.11.29 20:19

2010/11/30 00:08

自衛隊施設内での政治的発言などを制約する防衛事務次官通達問題を受けて、大塚拓前衆院議員(自民)が自衛隊関連の会合であいさつを事前に断られたことが29日、**自民党**「言論弾圧通達検討プロジェクトチーム」の会合で分かった。

会合には、通達のきっかけとなる**民主党**批判をした民間後援団体「航友会」の荻野光男会長が出席した。荻野氏は、25日に航空自衛隊入間基地(埼玉県狭山市)の近くで行われた入間基地退職者雇用協議会の創立25周年記念式典で「大塚氏とともにあいさつを断られた」と述べた。

関係者によると、協議会側は大塚氏に式典への出席とあいさつを要望したにもかかわらず、直前になって協議会側が「通達の件があるので」と断りの連絡を入れたという。

宇都さん、自衛隊は国に忠誠を誓っている。お前たち売国政権に忠誠なぞない、って、言ってやってください。



Commented by **bunshiro** さん

花うさぎさん

こんばんは。

さすがもと自衛官ですね。良いことを訴えています。

今は左翼教師やマスコミの洗脳で”自分が大事、個人の自由だ”という世の中ですが大変すばらしいです。(昔はこれが普通だったのでしょうか、、、)

>メディアは、**未来**は語らないんです。

これはそのとおりですね。

まあマスコミが語る**未来**はとんでもないものかもしれませんので語らない方が良いかも。

一方で

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20101129-OYT1T00978.htm?from=main3>

欠席した議員を晒して欲しいものです。



Commented by **花うさぎ** さん

To **しばりょう**さん おはようございます。

2010/11/30 07:03

>大塚前議員のあいさつも拒否 防衛次官通達で

情報ありがとうございます。通達が効いているんですね。

>宇都さん、自衛隊は国に忠誠を誓っている。お前たち売国政権に忠誠なぞない、って、言ってやってください。

まったく同感です。北澤防衛大臣も問責すべきです。



Commented by **花うさぎ** さん

To bunshiroさん おはようございます。

2010/11/30 07:05

>大変すばらしいです。(昔はこれが普通だったのでしょうか、、、)

はい。これは多くの人を知って欲しいです。

>欠席した議員を晒して欲しいものです。

酷いですね。両陛下がお出ましになられているのに。いかにいまの国会議員が議会を軽視しているのか、よく分かります。情報感謝です。

2010/11/30 10:10



Commented by **321izapets** さん

「田母神論文と自衛官の名誉を考える会」の集会
講師: [参議院議員 宇都隆史氏](#) (35歳、元航空自衛官)

当会の集会を下記のとおり実施いたしますので、ご参加下さい。

- ・日時 : 12月8日 14時—16時半
昨年と同様に16時半以降には懇親会を催します。
- ・場所 : [靖国神社](#)内の靖国会館「田安・玉垣の間」座席120名他は立席
- ・講師 : [参議院議員 宇都隆史氏](#) (35歳、元航空自衛官)
- ・演題 : 日本の防衛について(選挙戦雑感も語っていただきます)
- ・主催 : 田母神論文と自衛官の名誉を考える会
- ・協賛 : 防人を励ます会、主権回復を目指す会
- ・会費 : 2000円、懇親会は別途。
- ・申込先: yfe49468@nifty.com
090-3234-1094

昨年の集会の様様については、下記をご覧ください。

<http://tamogamironbun.cocolog-nifty.com/blog/2009/12/index.html>

平成22年11月30日
田母神論文と自衛官の名誉を考える会
事務局 yfe49468@nifty.com



Commented by **花うさぎ** さん

2010/11/30 11:02

To 321izapets さん こんにちは。

>「田母神論文と自衛官の名誉を考える会」の集会
>講師: [参議院議員 宇都隆史氏](#) (35歳、元航空自衛官)

おお～情報感謝です。12月8日(開戦記念日ですね)って平日ですね。う～ん、何とかやりくりして聞きに行きたいです。



Commented by **deliciousicecoffee** さん

2010/12/01 08:11

今日の昼の部は、おそらく私も行けません。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/12/01 08:31

To deliciousicecoffeeさん

>今日の昼の部は、おそらく私も行けません。

了解しました。画像は諦めるかな？



Commented by **321izapets** さん

2010/12/01 12:49

宇都議員の講演時間の変更のお知らせ

集会日時 : 12月8日 14時—16時半とあるのを
12月8日 13時半—16時と変更します。(以上)



Commented by **怒髪天使** さん

2010/12/04 17:14

花うさぎさん、こんばんは。

国家に宣誓して任官する自衛官の話ですが、自衛官ばかりではありませんよ。
海上保安官も、警察官も、消防官も己の危険も顧みず職務を遂行する公務員は、任官時に宣誓してさらに宣誓書に署名捺印して提出してるのですよ。

ちなみに警察官の場合ですが法令集に載っている宣誓文は、

宣誓書

私は、[日本国憲法](#)及び法律を忠実に擁護し、命令を遵守し、職務に優先してその規律に従うべきことを要求する団体又は組織に加入せず、何ものにもとられず、何ものをも恐れず、何者をも憎まず、良心のみに従い、不偏不党かつ公平中正に警察職務の遂行に当たることを固く誓います。

年 月 日

署 名 捺印

となっていますよ。

宣誓文を宣言して署名捺印できない方は「任官せずその場でお帰りください」といわれるそうです。